

NR-E130 ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車種に対応します。
・JR東日本キハE130系（キハE130形、キハE131形、キハE132形）
・JR東日本キハE120形
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。（テラツキ対策を施しています。）

！ 注意

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】

- ・ライトユニット : 1個/セット
- ・穴あけガイドシール : 1枚/セット

【その他】

- ・説明書(本紙) : 1枚
- ・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱




※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

- ・カッティングマット
- ・ピンセット
- ・ニッパ、ラジオペンチ
- ・プラスチックドライバー
- ・両面テープ
- ・木工ボンド
- ・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など)
- ・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
- ・楊枝、綿棒など
- ・ピンバイス(0.3~0.5mm)
- ・精密ヤスリ(平、角、針ヤスリなど)
- ・ゴム系接着剤
- ・プラモデル用接着剤
- ・直定規
- ・塗装面を保護する柔らかい布
- ・ポンチ(ブッシュピンなどで可)
- ・サンドペーパー
- ・マスキングテープ
- ・瞬間接着剤
- ・塗料(黒)

●取り付け手順

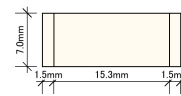


1. 分解する			2. 車体を加工する	
1-1 床板を外す	1-2 側窓を外す	1-3 前面を外す	2-1 屋根裏の突起を削り取る	2-2 尾灯の穴をあける
				
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	側窓を、前面のツメとの噛み合部をコジって外します。	前面を、ボディと噛み合っているツメを、精密ドライバーなどでコジって外します。 窓ガラスを外す必要はありません。	屋根裏にある、信号煙管・ホイッスルなどの別パーツ取り付用のガイド穴の突起を削り取ります。 別パーツを取り付ける場合は、事前に穴あけを済ませておきます。	妻板両端の尾灯部分に穴をあけます。 モールドの上下端にポンチで印をつけ、0.3mmの下穴をあけます。
(2-2つづき)		2-3 ヘッドライトの穴をあける		
				
下穴を0.5mmまで大きくし、間をつなぎます。開口の断面を整え、幅約0.6mm×高さ約1.5mmの穴に仕上げます。 窓ガラスの内側となるので、多少ラフでも大丈夫です。		穴あけガイドシールを切り出します。 穴あけガイドシールを、幕板に貼ります。 ライト穴の4隅に、ポンチで印を付け、0.3mmの下穴をあけます。 4つの辺に、0.3mmの穴を多数あけ、カッターで間をつないで四角い穴にします。開口の断面を整え、幅約1.5mm×高さ約1.2mmの穴に仕上げます。 窓ガラスの内側となるので、多少ラフでも大丈夫です。		
(2-3つづき)			3. ライトユニットを取り付ける	
2-4 側窓を加工する		3-1 ライトユニットを取り付ける		
				
加工でついたキズを黒の塗料でタッチアップします。また、ライト穴の断面、ライト穴の裏側周辺を、黒の塗料で遮光します。		側窓の前端上部を、幅2mm、高さ2.5mmの大ききで切り取ります。 ライトユニットのレンズを穴に差し込み、屋根下面に両面テープで固定します。		
4. 配線する			3-2 前面をはめる	
4-1 側窓の凸部にアルミテープを貼る		4-2 側窓下にアルミテープを貼る		4-3 側窓をはめる
				
5mm×7mmのアルミテープを4本用意します。 側窓の内側・両端、ボディとの嵌合部の凸部にテープを貼ります。テープの先端が窓ガラスのリップに当たるようにします。はみ出したテープを側窓の外側に折り返します。綿棒や指でよく押さえ、凸部に馴染ませます。両側の側窓の両端、計4箇所の凸部に貼ります。		2mm×112mmのアルミテープを2本用意します。 側窓の両端の凸部をつなぐように、テープを貼ります。 両側の側窓に貼ります。		側窓をはめ、両面テープで固定します。

4-4 ライトユニットに配線する		4-5 側窓下の重ね貼り
		
1.5mm × 30mmのアルミテープで、ライトユニットの給電パッドから側窓下まで配線します。余ったテープは切り捨てます。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3mm × 4mmのアルミテープを重ね貼りします。余ったテープは基板側面に折り込みます。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	側窓下の通電の確実を期して、3mm × 10mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

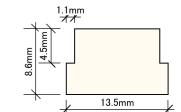
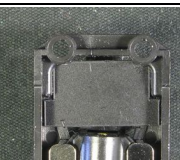
●室内灯を取り付ける場合



●乗務員室仕切りを取付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1 棧を取り付ける	2 仕切りを取り付ける
<p>乗務員室仕切り 型紙</p>  <p>0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 (遮光に適した黒いプラ板を分売しています)</p>	 <p>乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の後よりに、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、前側の切口までL字形に貼っておきます。</p>	 <p>乗務員室仕切りを、棧の前側に設置します。</p>

●遮光床を取り付ける(動力ユニットを使用し室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1. 遮光床を取り付ける
<p>TM-15/16用遮光床 型紙</p>  <p>0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 (遮光に適した黒いプラ板を分売しています)</p>	 <p>動力ユニットのフレームの開口部に遮光床をはめ、両面テープで固定します。 前後両端に取り付けます。</p>

